

Profile

わたなべ秀一ってどんな人？

守谷市議会議員4期(2012年2月～2024年9月)

昭和47年1月8日(52歳) 守谷生まれ守谷育ち

家族構成：妻・子・母

学歴

黒内小学校・守谷中学校・守谷高校・千葉商科大学
明治大学専門職大学院ガバナンス研究科修了

好きな食べ物・趣味

妻の手打ちそばが大好きです。

また、アジア料理、スパイス料理も好きです。

趣味は食べ歩き、DIY、アメリカンBBQ、筋トレ

地域活動

守谷ライオンズクラブ元会長、ひとり親世帯対象にもぐもぐ応援フードパントリーの配布や、
守谷市近隣中学校バレーボール大会や、小中学生を対象とした守谷イングリッシュフォーラム
を開催するなどの奉仕活動を行っています。

守谷市第二消防団元分団長、火災時の消火活動や地域の防災訓練のお手伝い、お祭りの警備
など地域を守る活動をしています。



がぶりメンチの生みの親

守谷市商工会商業部会の部長 守谷市のイベントでお馴染みのがぶりメンチ。2011年当時流行していたB級グルメでまちおこしを
目的に“**守谷将門がぶりメンチ**”をプロデュースしました。
コロナ後の現在は、いつでも購入できる店舗での展開を目指しています。

わたなべ 秀一後援会

住所：〒302-0109 守谷市本町 260
電話：090-6532-4178 メール：nabesta1211@yahoo.co.jp

日々の活動は
QRコードから
ご覧ください

討議資料 →



夢は守谷の子どもたちの笑顔に



守谷の未来を ともに創る

政策集 Ver.1



地図データ © Google

わたなべ 秀一

ひでかす



わたなべ秀一が考える

もりやビジョン2030

「これからも、ずっと守谷に住み続けたい」と
思えるまちづくり

守谷市はつくばエクスプレスの開通以降、大きな成長を遂げてきました。
しかし、現在の政策をもとに策定した市独自の第3次総合計画における人口推計※によると、守谷市も2030年をピークに全国的な少子高齢化の影響を受け、人口が減少する予測になっています。人口が減少し高齢化が進行すると生産人口が減少し、安定財源の確保が難しくなるとされています。その結果、市民サービスの低下を招き、住み続けたいまちを維持することが困難になります。

守谷には、立地の良さ、豊かな人財、恵まれた自然と、高いポテンシャルがあります。

私は、そのポテンシャルを最大限に活かし、公共交通の整備を軸とした7つの基本方針に沿って、守谷市が少子高齢化の中でも生産人口を減少することなく、今後とも緩やかに人口が微増し発展し続ける政策を推進します。

具体的には2030年までに、守谷市全域をバスの公共交通により整備します。それにより7万人から8万人の人口と自然とのバランスの調和が取れた環境を維持します。

そして、全ての守谷市民の皆様が安心して暮らし、多様なライフスタイルのもとでいきいきと活動し、生活のさまざまな場面で住みよさを実感できるまちを目指します。

私、わたなべ秀一は、「これからも、ずっと守谷に住み続けたい」と思える守谷の価値を次世代につなぐことを約束します。

私は、現在52歳です。5年後、10年後の結果に責任をもてる世代です。

守谷の未来を、市民の皆様と、ともに創ります。

渡辺 秀一

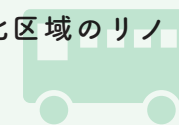
※2015年の国勢結果を基礎数値とした社人研の将来人口推計に2020年の実績を加味した守谷市独自の人口推計



1

公共交通の整備

守谷駅を中心とする公共交通網の整備し、守谷市全体の資産価値を向上します。
それにより、免許返納等で移動手段がなく困っているシニア世代や、習い事にいくお子様が安心して市内を移動できるバスの公共交通を整備します。
現在、高齢化が進んでいる市街化区域のリノベーションを推進します。



2

子育て政策

「守谷で子育てしたい」と思えるような子育て・教育環境を整備し、生産人口を増加させます。また、守谷市で育った子どもたちが希望する仕事で活躍し、「生き抜く力」を持てるように、次世代に必要なスキルと国際的な視野を広げる学びの場を提供します。



3

人生100年時代の福祉

平均寿命が延びる中で、病気や介護が必要になる前に予防に取り組むことを推進します。さらに、シニア層が持つ能力や経験を活かせるように、生きがいを感じられる仕事の機会を提供します。そして、さまざまなハンデを持つ方々が充実して暮らせる社会を実現するために、多様な施策を講じていきます。



※茨城県「さかいまちづくり公社」モデルの導入

4

しごとの創生、雇用創出

「地域で稼げること」は地域の生き残り戦略において重要な要素です。地域の稼ぐ力を向上させ、稼いだ利益を地域に還元する仕組み（地域公社の設立※）や、企業誘致による税収確保、雇用の創出を推進します。



5

持続可能なまちづくり 仕組み、人財育成

将来性のある起業・人への投資をします。ふるさと納税を財源とし、まちづくりに関する人材育成を目的とした「みらいファンド（仮称）」を設立。育成・発掘した人財を地域・行政へ活用できる仕組みを作ります。また、民間で活躍している専門的な知識やスキルを持った人々の協力を得て地域課題を解決できるような仕組みを作ります。

6

DX※の導入で 豊かな暮らしを実現

行政手続のオンライン化等を推進するとともに、デジタルサポートセンター等を設置し、DXの進展に伴って誰も取り残されことなく、すべての人がデジタル社会の恩恵を享受できるような環境を構築します。

※DXとはデジタルトランスフォーメーションの略

7

行政改革(開かれた行政・ 市民目線の発信・データに基づく 政策・民間活用)

市政情報をウェブサイトやSNSで分かりやすく発信し、重要案件は市民との対話を増やします。また、データに基づいた政策を立案し、市民や民間の視点からアイデアを集める仕組みを作ります。

守谷の未来を
ともに創る

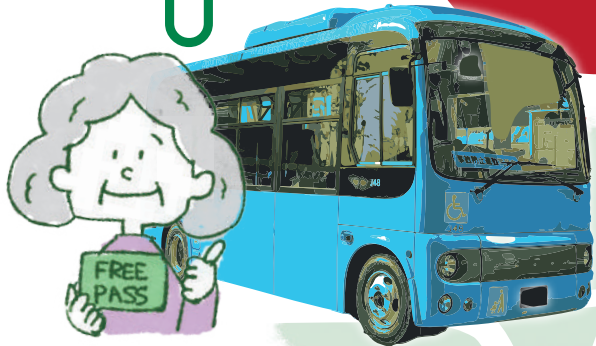


好きなときに好きな場所に
15分に1本の
守谷駅を中心とした
循環バスの整備

守谷駅東口および周辺の再開発



バスの便数が多いから
通院や買い物に
すぐ行ける！



75歳以上
免許返納者
バスフリーパス

新滝下橋の
早期建設



総合守谷
第一病院



久保ヶ丘



守谷
慶友病院

市役所

行政窓口
郵便窓口
図書館



高齢化が進む
街の若返りを推進



守谷野鳥の森
鳥のみちの再整備

みずき野



子育てしやすい
住宅エリアに
なったね！



渋滞緩和で
通勤のストレスが
なくなりました



中高生
通学定期券の
補助



つくばエクスプレス
8両化の促進

鬼怒川



ごみ焼却施設の検討

野木崎

スマートIC
周辺エリアの
開発

常総運動公園



常磐自動車道

つくばエクスプレス



ジョイフル
本田

高野

けやき台

南守谷

乙子



美園

利根川

都市軸道路
利根川架線の建設

全天候型プレイ施設



住みよいまちづくり（公共交通バスと環境整備）

地域をつなぐ新しい公共交通

好きな時に、好きな場所へ移動できる
公共交通バスの整備を実現します。

守谷駅を中心に、免許返納等で移動手段がなく困っているシニア世代、習い事などにいくお子様が安心して市内を移動できるバスの公共交通網を整備します。さらに対象の方※に市内路線バスのフリーバスを発行します。（※対象者：運転免許返納者、75歳以上、小学生以下）

守谷駅は、車いすの方やベビーカーを利用する方でも利用しやすく、安全面を配慮したユニバーサルデザインを採用します。リアルタイムのバス運行情報や時刻表を掲示、またスマートフォンでも確認できるようにし、利用者が待ち時間を把握できるようにすることで、利用者満足度を向上させます。

● 守谷駅周辺エリア

守谷駅から病院や買い物、市役所、子育て支援センター、常総運動公園など、好きな時に好きな場所に行ける公共交通を整備します。

● 市街化区域エリア（みずき野・本町）（美園・けやき台）（北守谷）

守谷駅を中心とする循環バスの導入、また試験的に自動運行バスを導入し運転手の人材不足にも対応していきます。

● 市街化調整区域エリア（乙子・高野・大野・立沢・板戸井など）

モコバスの増車によるルートの見直し
デマンド乗合タクシーの台数増車等による慢性的な予約困難も解消していきます。

● 企業バスの運行支援（お買い物バスや病院バスなどの運行）

守谷駅からのシャトルバスの運行することで、市内の生活必需品を取り扱っているショッピングセンター・スーパーマーケット・ホームセンターなどの企業と連携し、守谷駅からのシャトルバスの運行を推進します。同じく、病院などの医療施設にも同様に働きかけます。

市民の声 守谷駅周辺にお住まいの方に聞く公共バスに期待すること

夫婦でお酒が大好きなので、郊外の飲食店に行く時に公共バスを利用したいね。



日々の買い物に行く際に公共バスを使いたい!!
ガソリン代がういて、家計にやさしいです!



駅周辺の交通渋滞が緩和されると嬉しい。環境にもやさしい守谷になるといいね。



守谷まるごとリノベーション

市街化区域（特に高齢化地域）の高齢化率を抑制し
子育て世代に選ばれるエリアに整備します。

近年、守谷駅周辺の住居用地は人気があり、新しく購入することが難しくなっています。

一方で、守谷駅から少し離れた場所には、学校や公民館など住環境が整った地域があります。

この整備された住宅環境を、引き続き子育て世代に選ばれるような環境に整備し、これから住居用地を購入したい方に住んでもらえるようにしたいと考えています。

先行的に、みずき野と北守谷エリアを対象エリアとし、引き続き子育て世代に選ばれる環境を整備します。この二つのエリアは市内でも大きな市街化区域であり、これらのエリアリノベーションの成功が今後の守谷市の高齢化対策にもつながります。

● 守谷駅を中心にした循環バスを導入

● 子育て世帯の引っ越し準備金助成

● 建物の所有者に対する解体費用助成

● 親と近住する場合や二世帯住宅を建設する場合の住宅補助



守谷で育った子どもたちが子育てしたくなるまちづくり

守谷で生まれ育った方も、縁もゆかりもない守谷に引っ越してきた方も、我が子の故郷は守谷です。

住宅支援、就労支援、子育て支援といったトータルサポートすることで、ここで育った子どもたちが将来、自らの子育ての地として守谷を選びたくなるような、魅力的なまちづくりを推進します。



守谷駅および守谷駅周辺の環境整備

「人が集まる」という駅の拠点性をまちの価値向上につなげる

つくばエクスプレス開通から19年間経過していますが、守谷駅の景色は大きくかわっていません。私、わたなべ秀一は、守谷駅および守谷駅周辺の環境整備にチャレンジすることで、人口減少社会においても、若い世代に「住みたい、子育てしたい」と選ばれ続ける魅力ある街にし、生産人口を維持します。また、シニア世代が生きがいを持ち、元気に自立した生活を送れる社会をつくります。全ての守谷市民が安心して暮らせるまちにします。

民間企業と共同に守谷駅再開発プロジェクト

守谷駅西口に「守谷駅再開発プロジェクト」を推進します。実現に向けては、豊島区役所の建設等を参考に、守谷市の費用負担を極力抑える手法を用いて、守谷駅前に複合施設を整備します。行政施設と商業施設を融合する大きな理由の一つとしては、行政施設を駅に設置することで、駅周辺の地域が活性化します。人の流れが増えることで、商業施設も賑わい、地域全体の経済が活性化します。

開発にあたり、現在の守谷駅西口広場で開催している朝市の賑わいの機能（スペース）が継続できるよう配慮し、市民の皆さまとともに検討を進めます。

行政窓口（出張所）の設置・郵便窓口の誘致

ワンストップ的にサービスを受けられる、市民にとってやさしい窓口を設置します。特に行政手続きが多い子育て、高齢者の方の相談窓口を集約することで、市民の時間と労力を節約します。



行政窓口イメージ

図書室（デジタルライブラリー）の設置

市民の知的活動を支援し、文化的な交流を促進するため図書室を検討します。カフェを併設し読書や勉強をしながらリラックスできるフリースペースも設置します。また、駅に直結しているため、通勤や通学の途中で気軽に立ち寄ることができます。



カフェ併設の駅前図書館イメージ

市民ホールやコンベンションホール等の設置

市民ホールでは、地域の活性化を促進し、文化的な発展を支える拠点となることが期待されます。コンサートや演劇、会議やセミナー、レセプションパーティーなど多様な用途で利用され、地域の多様なニーズに応えることができます。



多目的ホールイメージ

守谷駅周辺の環境整備

子育て世代の応援機能の充実



駅前保育送迎ステーションの設置、小規模保育園（2歳以下）の設置

子育て世代の負担軽減と利便性向上のため、駅周辺に保育送迎ステーションを設置し、通勤時の保育送迎をサポートします。また、送迎バスの対象外となる2歳以下の子どものために小規模保育園を設置します。



一時託児施設の設置（ファミリーサポートの預かり場所）

現在、キ・ターレにある一時託児施設を、守谷駅前にも設置します。急な用事や仕事の際に安心して子どもを預けられる環境を提供します。



公設学童の設置

通学区域に関わらず通勤で守谷駅を利用している方のための公設学童を設置します。それにより、駅でお子様をピックアップすることができます。

守谷駅東口に児童センターと多世代コミュニティ機能を併用した施設の設置

守谷駅東口には公共施設がないため、市民の交流の場が不足しています。

ミ・ナーデ、キ・ターレのような児童センターと乳幼児からシニアまで幅広い年齢層が集える多世代交流の場を整備します。

この施設には、子どもや学生たちのためのスタディールームなどの子供の居場所づくりをはじめ、地域食堂、また、働くママを応援するために、テレワークを支援するスペースも完備し、多様なニーズに対応できる仕様にします。

